



多治見市政記者クラブ同時配布資料



令和3年3月30日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
岐阜県 現代陶芸美術館	広報担当	林いづみ 中島和也	代表 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101

いしぎやすゆき

石崎泰之 新館長就任記念講演会「現在形の陶芸」を開催いたします

岐阜県現代陶芸美術館では、^{たかはししゅうじ}高橋 秀 治館長退任（令和3年3月31日付け）に伴い、新館長に前・山口県立萩美術館・浦上記念館副館長の石崎泰之氏が就任いたします（令和3年4月2日付け）。これを記念し、講演会「現在形の陶芸」を下記のとおり開催いたします。



石崎 泰之

- 1 日時 令和3年4月24日（土）14：00～15：00
- 2 会場 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
- 3 定員 30名
- 4 申込 要事前申込・4月1日（木）10：00より受付開始
- 5 申込先 専用フォームより申し込み

<https://logofom.jp/f/sgjr9>

(QRコード)



石崎 泰之（いしぎ やすゆき）プロフィール

1960年(昭和35年)愛媛県松山市生まれ。1983年筑波大学芸術専門学群芸術学専攻卒業。1995年山口県教育庁文化課萩美術館・浦上記念館開設準備室、1996年同館専門学芸員、2007年同館学芸課長、2017年同館副館長兼学芸課長、2018年同館副館長。2021年4月から岐阜県現代陶芸美術館館長に就任。

山口県立萩美術館・浦上記念館では、「龍人伝説への道-三輪休雪展」「古萩-江戸の美意識-」「すみすり-赤間硯の造形」「彫金のわざと美 山本晃の詩想と造形」「茶陶の現在-2018 萩」など地域の文化資源である工芸とその表現性を紹介する展覧会を企画したほか、「三輪壽雪の世界」「今右衛門の色鍋島」「三輪龍氣生展」といった数多くの陶芸展の巡回展示に携わった。また、わざの美を競うわが国最大級の公募展である日本伝統工芸展の鑑査委員をはじめ、日本陶芸展や女流陶芸展といった現代の先端的な陶芸表現を選抜する全国規模の公募展審査員を務めるなかで、秀でた人材の発掘・育成に関与している。日本の近世陶磁史や陶芸批評に関する著述がある。

岐阜県現代陶芸美術館

検索

ホームページ：<http://www.cpm-gifu.jp/museum>